

明日の日本を担う エンジニアの養成をめざして

ごあいさつ

企業の皆様には、平素より本校の学科卒業生や専攻科修了生の就職等につき、多大な御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

本校は、昭和37年、高等専門学校制度創設と同時に設置され、46年の歴史と伝統を誇る国立の工業高等専門学校であります。創設時は、高度経済成長を支える中堅技術者の養成が期待されておりましたが、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応して、中核的・指導的技術者や、企画設計、応用開発研究を担う技術者も多く世に送り出してきました。現在の教育組織の構成は、中学卒業後の5年間を修業年限とする機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、生物応用化学科及び材料工学科の5学科であり、卒業生は準学士を称することになります。

また、卒業生が、2年制の専攻科に進学してこれを修了した場合は、大学卒業相当の学士の学位が取得できます。

本校では、学科第4学年から専攻科2年次までの4年間の教育体系を「複合型生産システム工学」の教育プログラムとしてまとめ、平成15年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けました。このことは、このプログラムが国際的な技術者教育の水準に達していることを意味します。また、平成17年度には、大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、本校の教育研究活動について、質の保証を受けております。

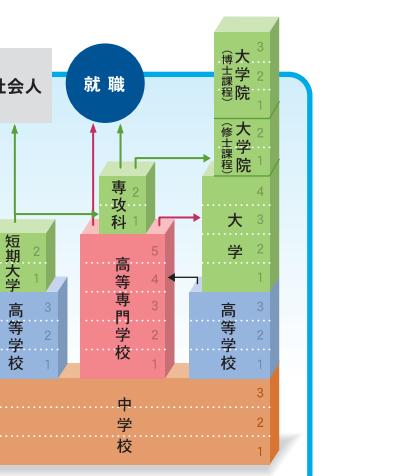
本校は、平成16年度から独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する55の高等専門学校の一つとなりましたが、これを契機に、学生、納税者、地域に対する意識を高め、教育課程、授業方法の一層の改善に努めるとともに、学校運営の効率的遂行と透明性の向上に努めております。今後とも、高い技術者倫理と自主性、創造性を備えた学生の養成に教職員一丸となって取り組み、社会や国民からの負託に的確に応えていく所存であります。

企業の皆様におかれましては、私どもの人材養成に対する熱意と意欲を御理解賜り、本校の卒業生、修了生の採用について格段の御配慮をお願い申し上げます。



世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育によって、主となる専門分野（機械、電気、電子・情報、化学、生物、材料）に加えて、中京地区の伝統的特徴である“ものづくり”に必要な生産システムに関する工学の基礎と、豊富な実験技術・新たな価値を創り出すことができる能力とを身に付け国際的に活躍できる実践的技術者の養成を目指しています。このプログラムは平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。



就職状況

企業内での活躍が評価されて、本校の卒業生に対する求人倍率は、毎年高い数値になっています。近年就職希望者1人に対し20社を超える求人の申し出があります。
(就職活動に際して、大学学部では自由応募制が普通ですが、本校では学校推薦制です。)

主な就職先

機械工学科

アイシン精機(株)、旭化成ケミカルズ(株)、KYB工業(株)、京セラ(株)、(株)小松製作所、JSR(株)、住友電装(株)、武田薬品工業(株)、中部国際空港施設サービス(株)、凸版印刷(株)、トヨタ車体(株)、西日本旅客鉄道(株)、日東電工(株)、日本貨物鉄道(株)、日本車輌製造(株)、日本精工(株)、三菱重工業(株)、村田機械(株)、(株)森精機製作所

電気電子工学科

旭化成ケミカルズ(株)、(株)INAX、オムロン(株)、京セラ(株)、JSR(株)、シャープ(株)、ソニーイーエムシーエス(株)、ダイキン工業(株)、中部国際空港施設サービス(株)、中部電力(株)、東海旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、三菱重工業(株)、村田機械(株)

電子情報工学科

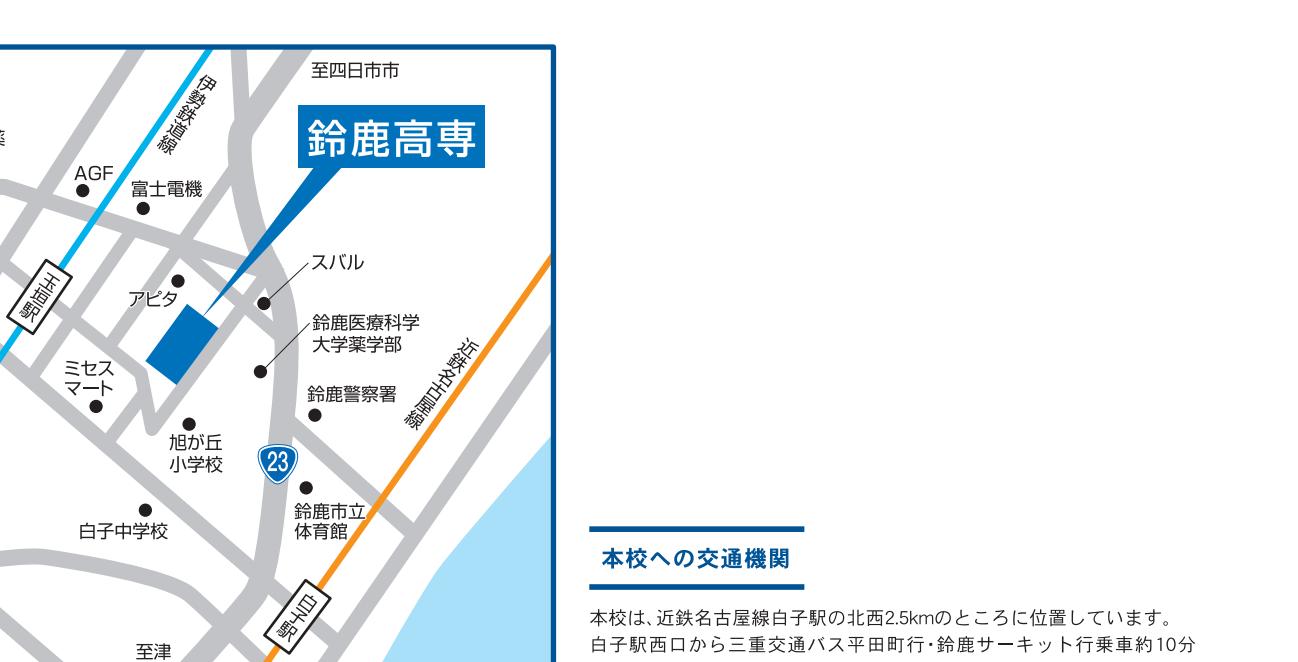
アイシン精機(株)、(株)NTTデータ、(株)NTTドコモ東海、大阪ガス(株)、オリンパス(株)、シャープ(株)、住友電装(株)、ソニーイーエムシーエス(株)、デンソーアルテック(株)、東レ(株)、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、西日本電信電話(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、ブライザー工業(株)、本田技研工業(株)

生物応用化学科

味の素(株)、(株)イーテック、(株)INAX、花王(株)、関西ペイント(株)、京セラ(株)、JSR(株)、新日本石油(株)、鈴鹿富士ゼロックス(株)、大日本住友製薬(株)、(株)ダイヤ分析センター、太陽化学(株)、武田薬品工業(株)、東洋インキ製造(株)、(株)豊田中央研究所、日東電工(株)、松下電工(株)、三菱化学(株)、ロート製薬(株)、光純薬工業(株)

材料工学科

旭化成ケミカルズ(株)、出光興産(株)、(株)INAX、京セラ(株)、グンゼ(株)、国印印刷局、サントリー(株)、JAL航空機整備(株)、ダイキン工業(株)、中部電力(株)、(株)東芝、東邦チタニウム(株)、東洋インキ製造(株)、(株)豊田中央研究所、日東電工(株)、日本たばこ産業(株)、(株)半導体エネルギー研究所、ブライザー工業(株)、明治乳業(株)、矢崎総業(株)



本校への交通機関

本校は、近鉄名古屋線白子駅の北西2.5kmのところに位置しています。白子駅西口から三重交通バス平田町行・鈴鹿サーキット行乗車約10分 東旭ヶ丘3丁目で下車。徒歩約10分。

各学科・各専攻科の就職担当者は、ホームページに掲載しています。
総合的なお問い合わせは、学生課学生支援係が担当しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

国立 鈴鹿工業高等専門学校

<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>

〒510-0294 鈴鹿市白子町 学生課学生支援係

TEL (059) 368-1732 FAX (059) 368-1738

E-Mail gkska@jim.suzuka-ct.ac.jp

国立 鈴鹿工業高等専門学校

Suzuka National College of Technology

高専から卒立つ、若き情熱たち

学科紹介

高い専門知識と
技術を企業の皆様へ…

SNCT 機械工学科

工業の基本、
『モノづくり』を支える
知識と技術。

機械工学科では、急速に高度情報化する社会の要請に応え、積極的にモノづくりに取り組む実践的エンジニアの育成にあたっています。本科では、構造強度・振動解析、機械設計法、精密加工法、流体・熱工学に加えて制御工学、メカトロニクス、情報工学等の分野を学びます。さらには、ロボット、NC加工機の制御、CAD/CAM等のコンピュータ応用技術を含む実験科目や実習、設計製図科目を修得します。卒業後は、大学3年次編入や専攻科への進学の他、電機、自動車などの輸送機器、精密機械などの製造企業や電力、石油、化学プラントなどに関連した企業あるいはコンピュータ情報サービスシステム関連企業などの幅広い分野に就職し、活躍しています。



Department of Mechanical Engineering

SNCT 電気電子工学科

産業の基盤となる
基礎知識と実践力を
身につける。

電気電子工学科では、多様化・高度化した技術に対応できる、総合的かつ専門的知識を備えた、即戦力となる技術者の育成を目指しています。そのため、基礎的な専門科目とその応用分野であるパワーエレクトロニクス、制御工学、回路工学、物性工学、情報報工学などの広い分野をマスターできる教育を実施し、工学実験、創造工学、卒業研究等の履修により、創造性豊かな電気電子技術者の育成に重点を置いた教育を行っています。

なお、所定の単位を修得し、卒業後、必要な実務を経験することにより、第2種電気主任技術者の資格を得ることができます。



電子機械工学専攻

Advanced Electronic and Mechanical Engineering Course

主となる専門分野（機械工学、電気電子工学、電子情報工学など）の知識と技術を発展的・系統的に学習し、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクス、情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識と研究開発能力を身に付けます。

SNCT 電子情報工学科

ソフトがわかる電子技術者、
ハードがわかる情報技術者。

電子情報工学科は、1989年に設立され、将来にわたって産業と社会の基盤を支える電子工学と情報工学に関する専門教育を行い、創造性と実践力を備えた、新しい時代を担うことのできる有能なエンジニアの育成を目指しています。

本科では、電気回路、電磁気学、電子工学、電子回路、プログラム設計、ソフトウェア工学、情報通信ネットワーク、電子制御工学、電子材料工学、人工知能、情報理論などに重点を置き、並行して創造力と実践力育成のための創造工学や工学実験を取り入れ、育成しています。



応用物質工学専攻

Advanced Applied Chemistry and Material Science Course

主となる専門分野（生物応用化学、材料工学など）の知識と技術を発展的・系統的に学習し、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセシング、環境・リサイクル技術、および機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識と研究開発能力を身に付けます。

SNCT 生物応用化学科

最新の科学技術と
環境保全を学び、
未来の技術を模索する。

生物応用化学科は、最近の技術進歩に対応・推進できる技術者の育成を目標として、工業化学に精通した情報・新素材・環境等に対応できる創造性豊かな技術者を育成する「応用化学コース」と、化学の基礎を十分に身につけ生物化学に精通した生物工学・情報・環境等に対応できる創造性豊かな技術者を育成する「生物化学コース」の2コース制を敷いています。無機化学・分析化学・有機化学・生物化学、物理化学、化学工学、無機化学・有機化学・物理化学、分析化学、化学工学、生物化学、有機工業化学、情報処理、環境科学等の共通必修科目に加え、より高度な専門的知識と実践力・応用力の育成のため、「応用化学コース」では、高分子化学・精密合成化学、反応工学等、「生物化学コース」では微生物学、生物化学工学、遺伝子工学等を教授し、種々の実験実習を重点的に課しています。



学士の 学位の取得

専攻科修了生は、大学評価・学位授与機構の審査を経て、同機構から大学と同様の「学士」の学位を取得することができます。

SNCT 材料工学科

あらゆる産業の
基盤となる『材料』の
エキスパートを養成。

材料工学科では、社会生活の基盤となる金属材料、セラミックス材料、高分子材料のほか、それらの複合材料などの先端材料を含めてこれら「材料」の製造・加工技術、物性評価、材料設計などについての専門教育を行なっています。材料工学科が育成目標とする技術者像は、材料に関連した諸問題を冷静かつ詳細に「解析」できる基礎知識を有し、問題解決の突破口を自ら切り開く「実践力」を備えた実践的技術者です。結晶学・組織学・無機・有機化学などの基礎科目の上に、無機・有機・金属・機能材料といった専門科目を履修し、さらに産業界で強力なツールとなる強度学・プロセス工学・加工学・材料保証学などを学んでいます。卒業研究では、技術シーズに結びつく基礎および応用研究を行い、シーズ開拓能力と問題解決能力の育成を行なっています。その他、情報系、電気系、機械系の基礎領域を学び、幅広い知識・能力の涵養に努めています。



進路について

専攻科修了後の進路は、就職と大学院への進学に大きく二つに分かれます。高専5年間で培われてきた実践的技術と専攻科の授業や特別研究で磨かれた研究開発能力は企業からも期待され、多くの求人をいただいている。今年も身に付けた知識・技術を社会で生かすべく意欲に溢れた若い技術者が貴社の求人を待っています。

専攻科紹介

- 専攻科の教育方針**
- ① 幅広い基礎技術と高度な専門知識を有し、広い視野から社会の変化に的確に対応できる技術者
 - ② 新しい価値を創造する力を備え、研究開発能力・課題探求能力を有して、社会に貢献できる意欲的な技術者
 - ③ 社会に対する責任を自覚でき、優れた倫理観を持った技術者
 - ④ 日本語および英語によるコミュニケーション能力を持った技術者

を育成することを教育方針とし、「複合型生産システム工学」教育プログラムを用意して技術者の養成に努力しています。

電子機械工学専攻

Advanced Electronic and Mechanical Engineering Course

主となる専門分野（機械工学、電気電子工学、電子情報工学など）の知識と技術を発展的・系統的に学習し、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクス、情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識と研究開発能力を身に付けます。

応用物質工学専攻

Advanced Applied Chemistry and Material Science Course

主となる専門分野（生物応用化学、材料工学など）の知識と技術を発展的・系統的に学習し、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセシング、環境・リサイクル技術、および機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識と研究開発能力を身に付けます。

学士の 学位の取得

専攻科修了生は、大学評価・学位授与機構の審査を経て、同機構から大学と同様の「学士」の学位を取得することができます。